

野外活動などを通じて未来を担う子どもたちを育てる「NPO子どもネットワークセンター天気村」(草津市)の子どもたちでつくる「こんぺいとうクラブ」が栗東市東坂、パン工房「もんぺおばさん」で、おやつ作りを楽しんだ。

幼児から小学校4年生までの28人が参加、簡単にできるブラジル風の小さなパン「ボンデケージョ」と乳酸飲料づくりをした。パン生地をこねる作業では、手にくっつく生地に苦労しながらも、ひとつずつ丁寧に丸めて天板に並べた。

オープンからパンの焼けるにおいがしてくると、大津市立瀬田東小4年の本郷大樹君(10)と執行員太君(10)は「早く食べてみたい。乳酸飲料も自分で作れるなんてびっくり。家でも作ってみよう」と笑顔で話

簡単おいしく「ボンデケータジョ」、栗東



ボンデケージョの生地を丸める子どもたち

た。

同クラブの子どもたちは毎週土曜日に野外活動や地域の人たちの協力を得て体験活動などをしており、天気村代表の山田貴子さんは「様々な体験を通して、大きな視野と考える力を持ってほしい」と言っていた。